



北九州市役所

総合ビジネス科 野口 馨汰
(野球部) (折尾中学校出身)

私は、北九州市役所に内定をいただきました。私が試験で感じたことや取り組んだことなどを紹介します。まず筆記試験では普通の授業では学ばない内容もあります。

私は、学校で月に一度行われる公務員講座に参加し、自分で過去問を解いて、専門学校の高校生向けの講座を受けるといった対策をしてきました。試験では、はじめの筆記試験で人数が絞られるため、筆記の対策は早めに始めることをお勧めします。分からない所は積極的に聞いてわかるようにしておきましょう。

面接試験では、挑戦する市や町についての質問があるため、受験先の地域について調べておくのはもちろんのこと、自分自身を客観的に見て知ることも大切です。自分がどのような者なのかを見られるので、まずは自分を見直しましょう。もし、客観的に見るのが苦手ならば、ほかの人に聞いてみるといいと思います。面接は緊張しますし、噛んでしまうこともあると思いますが、そこで焦らずに言い直せば問題ありません。しっかりと笑顔で、ハキハキと自信を持って面接に挑みましょう。

最後に、受験に対して不安になることもあると思いますが、勉強や面接対策についても、友人や先生など、周りの色々な人が助けてくれます。安心して将来に向け一つずつ頑張っていきましょう。



トヨタ自動車九州株式会社

総合ビジネス科 吉野 拓斗
(野球部) (岡垣東中学校出身)

私は高校3年生になるまで進学か就職か悩んでいました。3年生の7月に、学校に来た求人票を見て、トヨタ自動車九州の「常にお客様を第一に考え、世界中のお客様に喜びと感動を」という企業理念に魅力を感じ、志望しました。

採用試験の内容は、集団面接・適性検査・SPI・体力検査の4つです。私は面接練習を特に頑張りました。練習の時には質問された内容に答えられなかったり、緊張で言いたいことが言えなかったりする時がありました。しかし、練習の回数を重ねることであまり緊張することがなくなり、本番の試験では自信を持って質問された内容に答えることができました。また、担任の先生をはじめ、面接指導をくださった先生方が様々なアドバイスをくださったことが合格という結果につながったと思います。

最後に、私は勉強が得意な方ではなかったのですが、学校生活や部活動に真面目に取り組めば進路実現することができます。みなさんも進路実現に向けて頑張ってください、応援しています。



株式会社福岡中央銀行

生活デザイン科 田崎 みなみ
(英会話部) (則松中学校出身)

進路が定まらずにいたとき、進路担当の先生が私に福岡中央銀行を勧めてくださいました。金融機関に興味はありましたが、私は3年間生活デザイン科で学んできたので、自分に務まるか不安でした。しかし、先生や家族が背中を押してくださいましたし、職場見学を通してアットホームな雰囲気の魅力を感じたので、当行に就

職したいという気持ちが強まりました。それから、企業研究や面接練習に努め、内定をいただくことができました。仕事内容は、私が高校で学んできたこととは全く異なる分野なので、不安もあります。しかし、完成度を重視することや効率よく作業することなど、生活デザイン科だからこそ得られた知識や技術によって、私が社会で役に立てることはたくさんあると思います。さらに、折尾高校の挨拶練習などの取り組みのおかげで、意識せずとも丁寧な挨拶ができるようになりました。これは入行後、お客様と関わるうえで大切なことだと思います。このように、社会の中で必要なことを折尾高校・生活デザイン科でたくさん学べたので、心から感謝していますし、入行後十分に生かしていきたいと思います。
